



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	アンケート・参加者集計
Description	北海道大学入試改革フォーラム2018. 2018年5月21日. 北海道大学学術交流会館(札幌). 北海道大学アドミッションセンター主催, 北海道大学高等教育推進機構 高等教育研究部 高等教育研究部門共催
Issue Date	2018
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/86333
Type	other
File Information	6_Enquete.pdf



アンケート・参加者集計

北海道大学入試改革フォーラム 2018
「多面的・総合的評価に基づく選抜に向けて」
参加者アンケート

この度はお忙しい中「北海道大学入試改革フォーラム 2018」にご参加いただき、誠にありがとうございました。お手数ですが、今後の参考のためにアンケートにご協力願います。

※ご記入いただきましたアンケート用紙は、お帰りの際に受付にお渡しください。

1. ご所属

- (1) 高校 (2) 大学 (3) 教育産業 (4) その他 ()

2. フォーラムのテーマについて

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

3. 【第1部】基調講演者の発表について

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

4. 【第2部】現状報告者の発表について

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

5. 【第3部】総括討論（パネルディスカッション）について

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

6. 今後の「北海道大学入試改革フォーラム」について、どのような形式・テーマを望みますか。

7. その他（全般的なご意見・ご感想について）

ご協力ありがとうございました。

北海道大学入試改革フォーラム2018

「多面的・総合的評価に基づく選抜に向けて」

参加者アンケート集計

●アンケート回収数・・・119（参加者191名：回収率62.3%）

質問1. ご所属

	人数	割合
高 校	72	60.5%
大 学	20	16.8%
教育産業	17	14.3%
その他	9	7.6%
無回答	1	0.8%
合 計	119	100.0%

質問2. フォーラムのテーマについて

	人数	割合
良い	94	79.0%
どちらとも言えない	21	17.6%
改善すべき	2	1.7%
無回答	2	1.7%
合 計	119	100.0%

質問2. 理由（「良い」を選択）

- ・大学のみでなく企業の話もあったので。
- ・2018年度高校入学生が新テストの対象となり対応が求められるから。
- ・大学側がどのような考えで多面的・総合的評価を実施するのかを知りたかった。
- ・多面的に1つのテーマについて説明があるため。
- ・求められているものだから。
- ・変革期に今後の指標を少しでも得たかったので。
- ・高校での授業にも取り入れるべき多面的な取り組みとつながりが見えた。
- ・活動報告書等がどう活用されるか関心があるので。
- ・高大接続でも今、話題、改善されていく内容なので。
- ・発表者の人選をなさった方の苦勞、そして先見の明に感謝したい。
- ・今後の進路指導の方策の参考になった。
- ・「多面的・総合的」イコール「説明しにくい」ということだろうから。
- ・講演の内容はとても興味深く、我々高校教員が学ぶべき事柄が多く含まれていた。もし“入試”という言葉が無ければ、参加していないだろう（参加させてもらえないだろう）と考えるため。
- ・入学者選抜における直近の課題であるため。

- ・学力のみによらない多面的・総合的評価は、これからあらゆる分野で増えていくことが予想されるから。
- ・今後の大学入試の方向性に合致していると考えられるため。
- ・企業にリテラシー・コンピテンシーをAIを駆使して測るという事が浸透していることがよく理解出来た。
- ・高大接続の第一人者の話が聞けた。
- ・川嶋先生：大学入試、小学校から高等教育まで大きく変わる時期であり、北海道大学での取り組み状況をお聞きしたい。松村先生：評価するしくみ、項目はよくまとめられていました。

質問2. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・「北大入試改革」にどう関連しているかは何とも言えないが、内容自体は大変関心があったため。
- ・「北大の入試」の方向性を打ち出すべき。
- ・北大がどのようにして多面的・総合的評価をするのかを示してほしい。
- ・内容に関しては興味深く聞かせていただきましたが、高校・塾が考える「入試改革」フォーラムではありませんでした。
- ・昨年内容が入試に直接関わる物だったので今年もそのようなものかと期待しましたが、そうではなかったので残念です。（話自体は有意義でしたが）
- ・北海道大学の入試に関するものと期待していました。（パネルディスカッションで質問返答の形ではなく）
- ・大学の社会人育成の要素が強く、入試改革のテーマではないと感じた。また、なぜ北大である必要性なのかが見えない。
- ・現状報告の意味合いが強いため。
- ・高校教員に案内としている理由が不明瞭では？
- ・北大入試について聞きたかった。

質問2. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・“北大”とついているから参加者は北海道の高校教員。高校／大社と分けるべき。また今回は“北大”フォーラムではないのでは？（北大の人・話がゼロ）

質問3. 【第1部】基調講演者の発表について

	人数	割合
良い	89	74.8%
どちらとも言えない	22	18.5%
改善すべき	5	4.2%
無回答	3	2.5%
有効回答数	119	100.0%

質問3. 理由（「良い」を選択）

- ・認知していなかった事柄を、実例とともに提示してくださっていたので、自らにとって勉強になった。
- ・特に高校教諭としてはリアセック松村さんの話が教育現場に活用できそう。
- ・民間会社のお話は、非常にリアリティがある。
- ・各大学の入試の取り組みがわかって対策を考えるきっかけになりました。
- ・特に企業の立場から、社会の求める人材について貴重なお話がうかがえた。

- ・アドミッションオフィサーの設置の必要性は理解出来たが、その先をもう少し知りたかった。PROG-Hを利用しているので、深く理解できた。
- ・リアセックの方の話がとても参考になりました。
- ・アプローチが異なってもベクトルが一致しているため。
- ・時間の関係で、ややかけ足だったが。
- ・方向性と具体性のバランスが取れていたと思います。
- ・企業側の求められる（育てていく）生徒像が具体的項目立てで、わかりやすかった。
- ・大学入試制度の変更に限定せず、社会との繋がりまでが具体的にイメージできたのが、とてもよかった。
- ・今の生徒にどのような力が求められ、それをどう評価していくかという現状を知る上で参考となった。
- ・目指すところと現状に差があると判った。
- ・入試改革とは言いにくい話でしたが、参考になりました。
- ・現状分析と今後の方向性の予測が出来たから。
- ・阪大の具体的な取り組み、リテラシーとコンピテンシーの説明が良かったです。
- ・大学関係者の方々にとってはよかったのではないのでしょうか。
- ・HAOプログラムのことがとてもわかってよかった。
- ・私見の共通オンライン、共通テストの充実と活用の拡大は良い考えと思います。

質問3. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・大学側の発表がどうこうというつもりはありませんが、企業の発表レベルと比べると評価の仕方の甘さしか見えない。結局何を伝えたいのかわかりにくい。
- ・現実味がない話題だったため。（すいません）
- ・アドミッション・オフィサーへの期待はわかったが、大学外とのつながりがイメージしにくかった。
- ・それで北大は？という気持ちになった。
- ・多くの高校教員が、高校教育現場では何を变えていくべきかを教授してほしいと思ったのでは。
- ・学力以外の能力評価について、もう少し入試に基づいた具体的事例が欲しかった。

質問3. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・対象が“大学関係者”によりすぎてるが、参加者は高校教員がほとんど。
- ・大学の中での必要性で、今求められている多面的・総合的評価について何もなかった。京都工芸繊維大学の基準は少しわかりました。一面、面白いけど、こんなので人を判断してどうなるのだろうか？多様性よりは画一的になるような気がします。
- ・パネラーの講演が長い。
- ・私たちとしては得ることがないため。

質問3. 理由（無回答）

- ①高校には関係なし ②興味あるテーマ

質問4. 【第2部】現状報告者の発表について

	人数	割合
良い	106	89.1%
どちらとも言えない	10	8.4%
改善すべき	2	1.7%
無回答	1	0.8%
有効回答数	119	100.0%

質問4. 理由（「良い」を選択）

- ・「高校までの学び」が「大学での学び」や「社会へどうつながっていくか」具体的取り組みに触れることができたため。
- ・大学進学レディネスが備えられた生徒は、大学で伸びることがデータで説明されて大変良かった。
- ・いずれの報告も、たいへん参考になった。
- ・高校での指導内容も変えていかなければ次世代の入試やその先の活躍できる人材になれないと感じました。
- ・特に企業の立場から、社会の求める人材について貴重なお話がうかがえた。
- ・ダビンチ入試の内容を良く知れた。また、GROWについては知りませんでした。大変勉強になりました。
- ・福原さんのお話にとっても興味がありました。
- ・知らない話が多く聞けました。
- ・現状と“少し先の現状”が具体的に示されていたため。
- ・非常に興味深いケースでした。GROWは人間のバイアスを正すという意味では有益でしょうが、少し恐ろしいですね。
- ・(2)はとても興味深い。
- ・求める学生像の今までとの変化が理解できた。
- ・各分野での最近の話が聞け、大変参考になったため。
- ・大学の入学選抜の現状や、入社試験による現状など普段は聞けない内容であった。
- ・弊社でも利用しているGROWについてより深く知ることができた。
- ・ダヴィンチ入試、GROWともに入試に求められるこれからの力、社会で評価される人物像の新しい評価方法など、目からウロコの内容も多く、関心が持てた。
- ・福原様の話が面白かった。
- ・両者とも内容の濃いお話でした。
- ・私たちに伝えようとしていることが明確でわかりやすい。内容（GROW）そのものが面白い。
- ・ダビンチ入試があるべき姿のAO入試、大学入試に感じた。
- ・多面的・総合的評価は広範囲なデータに基づくのがよいと考える。
- ・京都工芸繊維大学のダビンチ入試は非常に慧眼であると思った。
- ・実際の多面的・総合的評価の例を知ることができ、参考になった。
- ・大学・企業側両方の意見が聞けて有意義だった。
- ・AIが人を判断してしまう時代が来そうです。発達障害が可視化されるかも。
- ・現在行われている、総合型入試についてよく理解できたから。
- ・ダヴィンチ入試の先導性、GROWの有用性が理解出来ました。後でもう少し自分自身で考えて落とし込んでいきます。

- ・ダビンチ入試の報告は高校教員として参考になった。
- ・ダビンチ入試が大変参考になりました。
- ・従来の形にとどまらない試みが紹介されていたため。
- ・ダビンチ入試を北大入試では人数も多いのでできないと思うが、ダビンチ入試も選抜の1つとして良いのではないかと思います。活動の記録、志望理由書は何とでも書ける、記載内容は先生や親に相談もでき完成度も高いので、評価に適するかと思っていたが、評価観点は大いに参考になりました。

質問4. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・倍率のある場所で見方を変えたら、現行よりこんな違いが出ましたという話は当たり前なので、2000人定員でどう切りとっても2000人は変わらない。合格者内で順番が変わるだけで2000番目の子は同一人物。その入試のくくりの集団はこうだったというだけの話。
- ・大学側の発表がどうこうというつもりはありませんが、企業の発表レベルと比べると評価の仕方の甘さしか見えない。結局何を伝えたいのかわかりにくい。
- ・内容は実践的なものが聞けましたが、1つ1つ（特に後半は）もう少し時間があっても良いと思いました。全体の時間と盛り込みたいボリュームとのバランスもあるのだとは思いますが。
- ・やや特定の事例すぎるかなと思った。
- ・私たちの立場から考え、得る事があるかは、むずかしい。

質問4. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・“社会人として”の能力に偏重しすぎではないか、入試改革というテーマがあまり感じられない。
- ・パネラーの講演が長い。

質問5. 【第3部】総括討論（パネルディスカッション）について

	人数	割合
良い	70	58.8%
どちらとも言えない	27	22.7%
改善すべき	5	4.2%
無回答	17	14.3%
有効回答数	119	100.0%

質問5. 理由（「良い」を選択）

- ・高校教育の本来のあり方を考えさせられました。
- ・入試の改革について、さまざまな方面の人の話が聞けたので。
- ・それぞれの立場、それぞれの現場の声が聞けたため。
- ・率直な考えが聞けて良かった。（北大の考え方も）
- ・会場の質問に答える形式が良かったのでは・・・。
- ・（1部が）解決しました。
- ・特にeポートフォリオについての各氏の考えが聞けてよかった。
- ・ポートフォリオへの考えが明るくなりました。これまで良く分からなかったので・・・。
- ・第1部・第2部をもう少し縮小し、パネルディスカッションを拡大すべき。

- ・eポートフォリオの問題点など明確になった。
- ・国が求める多面的評価について、これからの入試改革にどう導入していくかを考えさせられるフォーラムであった。
- ・内容は良いと思いますが、もう少し時間は長くした方が良いと思います。
- ・e-Portfolioについての見解が聞いて良かった（量的ではなく質的重視）。
- ・細かい部分について理解できたから。
- ・各講演者の見解を様々な角度から聞いて、現場での情報提供に役立ってます。
- ・福原さんのアクティブラーニングなどの大学入試での評価について賛同しました。ビッグデータを集めて活用すればレベルの高いものになると私も思いました。
- ・いろいろと刺激はあった。
- ・このパネルディスカッションにこそ、もっと時間を割くべきだし、討議させるべき。
- ・大学が大学の事としか考えていないことがよくわかった。

質問5. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・前回（2017）のように第1部・第2部の内容を深化したディスカッションであれば、全体の認識も深まったと思えるが、今回のテーマは恐らく参加者にとっても、やや考えを整理しなければならない内容だったと感じたので、第3部は蛇足感が否めなかった。
- ・高校側の質問の質の低さになんとも恥ずかしい思いでした。申し訳ないです。
- ・質問に対する回答が何を言っているのかわからない部分があった。
- ・帰りの交通機関との関わりで、不参加。
- ・1・2部の繰り返しになってしまっていた。
- ・余計なことは言えないというのはわかりますが、基本的考え方などについてはもっとつっこんだ話を聞きたかった。
- ・発言（質問）と解答が少しずつずれているように思います。
- ・会場からの質問中心ではなく、半分位は事務局側で設定して欲しかったです。

質問5. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・北海道大学がパネラーが良い。
- ・すべての質問に答える必要なし。コーディネーターのすすめ方に問題あり。
- ・パネルディスカッションではない。
- ・あまり議論が深まらず、拡散気味と感じた。

質問5. 理由（無回答）

- ・申し訳ありませんが仕事に戻ります。
- ・すみません。第3部は参加できませんでした。

質問6. 今後の「北海道大学入試改革フォーラム」について、どのような形式・テーマを望みますか。

- ・“北海道大学として”入試をどう考え、どう変えるつもりなのか。
- ・高校との対話の場面もあるとよい。
- ・北大をはじめとする各大学における「求める人材像」について、文章化したものではなく、単純表記され

たものを知りたい。また求める人材像にかなった学生たちが、大学4年間で1番何を学んだのか集計したデータ等があれば、フォーラムの形式をとった状態で知りたい。

- ・地方の大学、私立大学の考え方も聞きたい。
- ・今後、高校生に求められる資質能力をより具体的に評価する方法について
- ・全国的な国公立大学の具体的な改革の方向性が見える形になればと思います。
- ・パネルディスカッション形式の時間をもう少し長めにとっていただけるとよい。
- ・北大の状況（入試改革）について知りたい。
- ・大学入試において今まで学力以外に「ある」と信じられてきた力の可視化。
- ・中高生が具体的にどのような取り組みをしていくと、希望の進路を実現する事が出来るのかをお話して下さると助かります。
- ・北海道大学入試改革フォーラム、というからには北大としての考え方を示してほしい。
- ・高校生をかかえる側として、有意義な情報を提供していただきたいです。
- ・時間的な制限からか、もう少し丁寧お話をうかがえるとよかった。
- ・形式は良いですが1部と2部の間に休憩10分欲しいです。
- ・今後もこのような形式で良いと思います。
- ・今回の延長路線で良いかと思えます。
- ・ポスト受験（大学入試）至上主義。
- ・海外との比較、グローバル環境の中での大学、その高校・社会とのかかわり。
- ・第1部第2部が長い。北大はどう考えているのかをもっと議論すべき場ではないか。
- ・どのような者が、学力・能力が求められているか？本当にそのような選抜ができるのか？
- ・3回目も同様に。
- ・今後も最先端の情報を提供してほしい。
- ・今回のような将来的な大きな枠組みも良いですが、より入試実践に即した具体的なテーマ設定も伺いたいです。
- ・入試の情報を頂けると高校現場での指導に役立てることができます。
- ・講演、報告を欲張りすぎた感あり。じっくり話を聞きたいです。
- ・これからのキャリア教育に必要なもの。AIの発展の時代に。
- ・もう少し入試について直接的な話題を取り上げてほしい。（入試改革の話が進んでいるのだから尚更）
- ・10年、20年後の高大接続予想図、対策など
- ・北大の話を入れてほしい。
- ・質問を取り上げてはいただけたのですが、直接質問させていただけるとありがたかったです。
- ・北大は高大接続？新テスト？国語の拠点なので、そのセミナーをやってほしい。
- ・高校と大学の協力関係（共同研究や共同プレゼンなど）をどう進めていくか？
- ・北大の意見や意思表示を盛り込むべきでは？
- ・eポートフォリオまたは将来GROWのようなものが入試に利用されるとすればどういう形になるのか？
- ・「学力の質保証と外国人留学生」について、多様な意見が欲しい。
- ・特になし。現状のものでよい。
- ・貴学の今後の方向性を伺いたいです。
- ・高校にも案内をするのであれば、もう少しバランスを考えていただきたい。本校からの参加は2年連続ですが、高校に案内をかけるのであれば北海道大学さんがどのように入試改革を考えているのかについての

情報が欲しいです。多くの高校が北海道大学を目指すからこそ、高校の先生方がたくさん集まっているのではないのでしょうか。

- ・今回のような形式を望む。
- ・北大は「多面的・総合的評価に基づく選抜をどのような形で行うか」を具体的に知りたい。
- ・予め質問・要望を集めたうえでパネルディスカッションや基調講演をすること。テーマは北海道大学がどのような学生を求めている、評価を行うことを検討しているか（今日のようなテーマに引き続き）。進捗状況。
- ・特にありません。

質問7. その他（全般的なご意見・ご感想について）

- ・本フォーラムの参加者は、ほとんどが高校教員であり、求めていたのは高大接続、“大学入試”の評価であったのではないか。そのような中、“大学内のあり方（アドミッションオフィサーなど）はほとんどの参加者にとって関係のないテーマになってしまった。次回は、対象を広げ高大-大社とするのではなく、高大/大社を分けて実施していただきたい。
- ・北大の情報についてもっと知りたかったです。
- ・前半3時間通しではなく、間に休憩を入れてはどうでしょうか。
- ・推薦・AOで入学した学生が、本当に一般入試で入学した学生と比較して優劣が際立つのか、今回のデータを見ても疑問が残る。個人的には、一般入試で入学した学生とAO・推薦で入学した学生の間に意欲差が微妙な違いしか生じないことが理想的ではないかと思う。そういった観点でみると、川嶋先生が最後に私見として述べられた「APと入学定員の矛盾」については考えさせられる内容だった。
- ・学びの意欲・態度が個人の能力を引き上げることにつながることを実感した。個人的にはGROW360の話が興味深かった。AIの社会的進出の現実を知った。
- ・パネルディスカッションは高校の現場の教員や文科省の方も入れてのものであって欲しい。
- ・入試改革に対する“業者”のフィルターを通さない大学の考えを直接聞くことのできる貴重な機会として良かったです。こういう機会こそが“高大接続”だと思います。※eポートフォリオの扱いについては早期に公表していただきたいです。（現高1は困惑しています）
- ・大学、社会で求められる力を再認識できました。ありがとうございました。
- ・北大英4技能について入試に使うが加点方式にしないとは？どういうことか。
- ・高校現場としては、もっと社会ではどのような資質を必要とされているかほしかった。1年の担任としてどのような入試になるか、本当に知りたい。文科省が遅すぎるのだろうが、各大学ではっきり定め、すみやかに伝えてほしい。あくまでやるべきことは不変で問われる方法論なのだろうが。
- ・さすが現場をご存知の鈴木先生。H34年度入学生（現中3生）に英語4領域etc.、AOについては前倒しも（現高1生）なわけで、そこが集団面接などのAOの手入れだ、と安心できる回答でありがたかった。答えによっては部活のあり方、放課後3年の面接練習の開始時期すべてに影響します。
- ・札幌圏高体連大会集中日です。（気づくのが遅れた）我々、大人が悪いから改革するのです。
- ・北大の改革方針を知りたい。
- ・企業側の考えは大変参考になった。このような内容で来年度も実施するのであれば「タイトル」を変えてほしいです。
- ・私の勉強不足ですが、意味の分からないカタカナが多かったので、改善していただけると助かります。
- ・高校教員としての参加でしたが、北大についての部分が少ないのが残念でした。

- ・様々な分野の方々が来ているので話の内容が広く面白いのですが、高校の教員的には消化不良の感じも少なからずあります。生徒の本当の力を測る入試を期待しております。
- ・ますます道内の子が理系に入りにくくなっています。何とかしてほしいです。
- ・準備、運営ありがとうございました。
- ・それで北大はどう選抜するのだろうか。英語外部試験・資格としての導入はやめた方がいい。受験できない地域、経済的な格差もあるなかで取り入れるのはどうかしている。英語外部試験は高1から受験させなければ間に合わない。早くはつきりすべき。
- ・ありがとうございました。
- ・現状報告も引き続き、多様な面から。
- ・たいへん勉強になった。
- ・参考になりました。時間の制約等、御事情があるとは思いますが、休憩は適宜入れて頂きたかったです。
(せっかく拝聴させて頂いても持続が難しいです)
- ・福原様の報告に大変興味を持ちました。ありがとうございました。
- ・一部と二部の間に休みが欲しいです。
- ・この内容であれば「入試改革フォーラム」でなく「教育改革フォーラム」にしていきたいです。
- ・休憩時間をもう少し多く入れてほしい。
- ・今年度は昨年に比べ、話が入試改革全体に及び、大変興味深かった。ただ、北大の入試について、もう少し具体的な話があれば、現場の指導に生かせると思った。北大の方向性が示されることも期待したい。
- ・北大ではどのように多面的評価を行うのか方向性をもっと知りたかった。
- ・とても面白い内容で、今後の進路指導の参考になりました。
- ・今後フォーラムによって北海道大学がどう改革していくか意思表示がないのは残念。
- ・パネラーのみなさん素晴らしかったです。勉強になりました。
- ・北海道大学「の」入試に関する話を聞くつもりで来たのですが、今後の入試に関わる全体的な話が聞けたので、それはそれで良かったです。とても参考になりました。
- ・大学生として必要な能力というより、その先にある社会人として何が必要かに主眼が置かれているように感じた。
- ・北大の入試（改革）についての情報をもう少し欲しい。
- ・大学入試のためではなく、生徒の資質・能力を伸ばすために学習指導要領に則した授業を行うよう、周知します。
- ・特になし。
- ・どの講演も新しい視点が得られ、大変有意義でした。
- ・長時間座ったままで足腰が痛いです。第1部と第2部の間に休憩時間があるとありがたかったです。
- ・北大もHAOみたいなアドミッションオフィサーを育成する全国的な育成プログラムがあるといいです。
- ・三部形式の進行の際に間に休憩をはさんでもらいたい。
- ・特にありません。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・パネルディスカッションについての質問用紙は、予めダウンロードして記載して当日を迎えられるように準備していただけるとありがたいです。
- ・実際に新しいしくみで受験する子どもたちが高等学校に入っているのに、具体性がない事が多く、私たちの立場で何をどうすべきで、求められる事、実際にすべき事は何かをもう少し示してほしい。それはきれ

い事ではありません。来年わかる、では話になりません。

- ・高校で対策を立てることと生徒に指導することの違いが全くわかってない。
- ・もう高校1年は入学しているんですが、何も発表されていないのはなぜですか？
- ・大学には期待できないと強く思った。北大はどうしたいの？「たとえば」って無責任では。
- ・フリーな質問を設けるべき。大学側の情報発信では一方的。
- ・4名の興味深い話でしたが、濃すぎて私達が消化しきれないかもしれません。お一人ずつ4回に分けて聞きたい位でした。ありがとうございました。